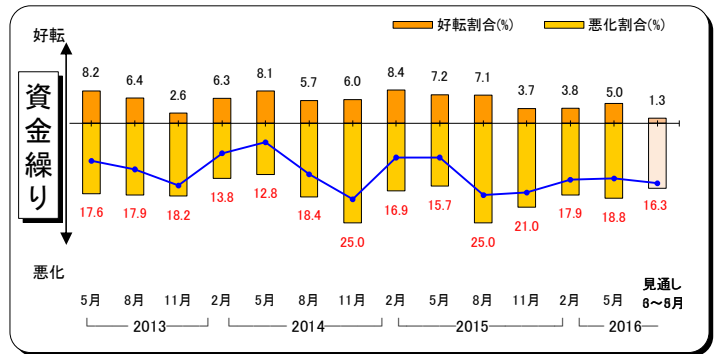
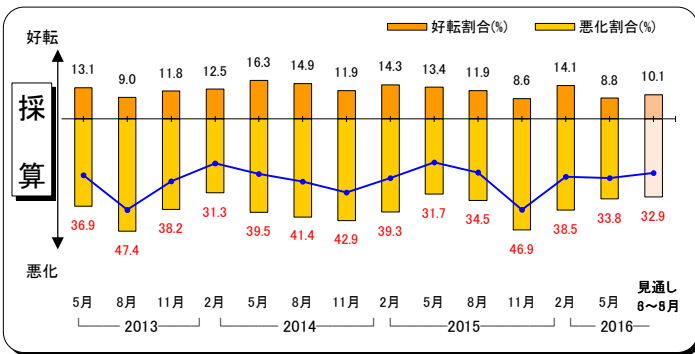
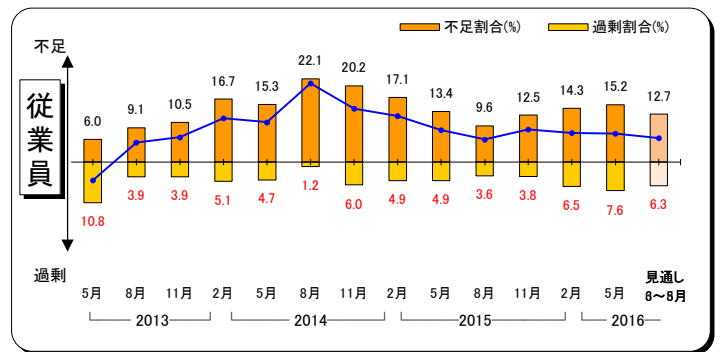
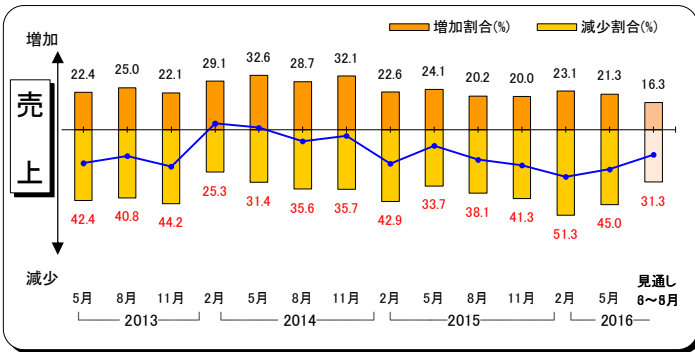
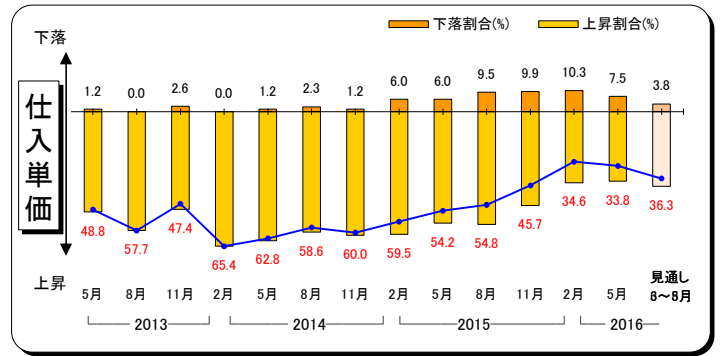
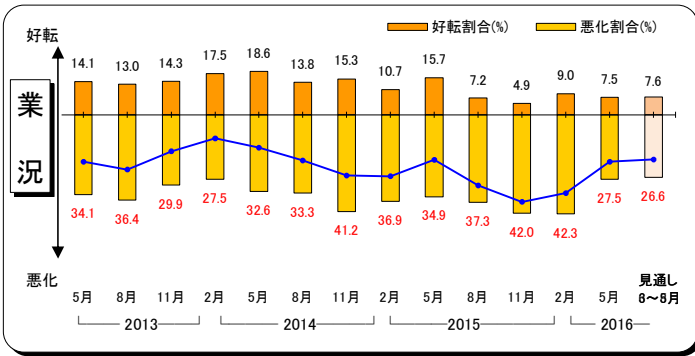


【卸売業】①



【卸売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

食料・飲料卸売業	弊社は食品製造卸売業を営んでいるが、輸入原料の高騰が利益率の低減に大きく影響している。また、外食の入客数の減少による売上高の減少など、あまり期待するものが無いのが現状。不変状態が今はベストと感じられるのが実情。
食料・飲料卸売業	天候不順、為替等により、仕入単価の上昇が続いています。また、個人消費の伸び悩みが続き、経営状況は大変悪いです。
鉄鋼製品卸売業	中国を初め新興国経済の減速の年明けからの急激な円高に伴い、まだまだ先行き不透明感を増す、世界の経済情勢が続くと思われます。
非鉄金属スクラップ卸売業	金属価格は当分の間、低下の状態が続くと思う。中国の鉄鋼生産が良い例で、価格が上昇するとすぐに増産の供給過剰となって下落しており、これは資源価格全般に言える事だと思う。 夏になり、飲料缶スクラップの発生が増大。しかし海外への流出が増えているので、その他のスクラップの発生は減少しているが、納入先の生産量が伸びていないので、大きく動くことは無い。
産業機械器具卸売業	募集をしても人は殆ど来ません。 仕入価格は、モーターの高効率化により高騰しつつあります。 また、県外業者との販売価格の競争により利益は薄くなっています。
理化学機械器具等卸売業	アベノミクスは円安による輸出企業の相対的増益をもたらしたにすぎず、全体的な需要増にはつながっていない。 生産拠点を海外に持つ自動車業界が良い例であろう。 生産を増やす政策的努力より、サービスを充実させ、実の高いサービスで国内需要を掘り起こす努力が必要ではなからうかと思っている。